

YAMAMURA PHOTONICS CO., LTD.

環境報告書



2016年度

# 環境理念

山村フotonクスは、  
地球環境への影響に配慮した  
生産活動を通して豊かな自然の  
恵みを永遠に享受できる  
社会と環境の実現に貢献します。

## 目次

### 会社概要

トップメッセージ  
会社概要  
環境活動の歩み  
生産拠点  
環境方針・認証

### 環境実績

環境外部・内部監査  
環境負荷マスバランス  
環境パフォーマンス  
法定届出評価  
環境目的・目標実績

### 環境活動

環境配慮型製品  
法令順守状況  
環境リスク管理活動  
社会貢献活動

- 環境報告書アンケート
- ご意見・ご感想・お問い合わせ



いま世界は、温暖化とその影響ともいわれる気候変動、化学物質による空気・水・土壌などの汚染、開発による森林減少、砂漠化の進行など様々な環境問題に直面しています。企業はこの現実を踏まえ、循環型社会の実現に向けた取り組みを進めることが重要になっております。

当社は創業以来硝子材料、硝子と金属の融着技術を基盤として、フォトニクス分野やエレクトロニクス分野に商品を提供することで、社会に貢献してまいりました。その中で環境問題を重要な経営課題の一つと捉え、生産活動に関連して発生する環境負荷の低減活動に積極的に取り組んでおります。エネルギー使用の効率化・使用化学物質の削減・生産性の効率向上・廃棄物の削減などによる3Rを推進することにより、持続可能な社会実現に向けての活動を推進しております。

社会貢献活動としては、会社周辺の清掃活動、献血やペットボトルのキャップリサイクル収益で、世界の子供たちにワクチンを届けようという「エコキャップ運動」への参加、鶴見川の環境保全活動の一環である「子ども風祭り」の協賛などの活動をしてまいりました。また夏場にはピーク電力削減を目指し、勤務体制の変更などの施策を実施しております。

2016年度においても、当社の「経営理念」、「環境方針」のもと、法令順守を最優先に環境負荷低減活動を展開し、所期の成果を上げることが出来ました。本報告書は、その環境活動をまとめたものであります。本報告書を通じて、一人でも多くの皆様に、当社の環境管理活動を理解していただくとともに、今後の当社環境経営の更なる充実にむけ、皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただけましたら幸いに存じます。



山村フォトニクス株式会社  
代表取締役社長

店橋 弘

# 会社概要・環境活動のあゆみ

## 会社概要

商号	山村フォトニクス株式会社 YAMAMURA PHOTONICS CO.,LTD.
設立	1949年3月14日
代表取締役社長	店橋 弘
資本金	5000万円
売上高	40.4億円（2015年度）
事業分野	電気・電子機器用ガラス部品製造・販売 光エレクトロニクス部品製造・販売 ガラスセラミックス(LTCC)製造・販売 各種メッキ・表面処理
従業員数	160名(2016年12月1日現在)

## 環境活動のあゆみ

年代	環境管理活動のあゆみ
1970年代	公害防止課 設置
1980年代	公害防止課 → 環境管理課 トリクロロエチレン全廃・トリクロロエタン全廃
1990年代	フロン全廃 環境理念・環境方針 制定
2000年代	ISO14001認証取得:JQA 環境管理事業所認定:本社工場・横浜工場 環境報告書ホームページに掲載 ISO14001:2004年度版移行更新審査
2010年代	省エネ推進委員会発足 (エネルギー使用量管理実施) エネルギー使用量1%／年以上削減 5年連続達成 『省エネ優良事業所Sクラス認定』



## 本社工場

所在地:

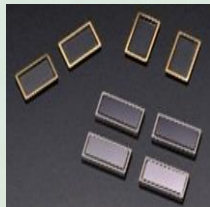
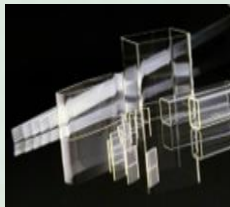
横浜市都筑区池辺町4207

【業務内容】

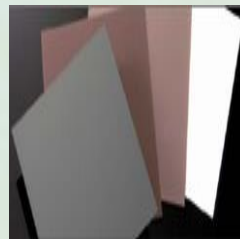
- ・ 本社機能
- ・ 硝子素材及びガラス製品の設計・製造
- ・ ガラスセラミックスシートへの設計・製造



### ガラス部品



### ガラスセラミックス (LTCC)



## 横浜工場

所在地:

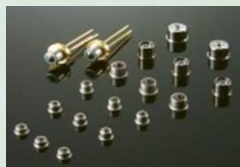
横浜市神奈川区恵比須町7-8

【業務内容】

- ・ 光エレクトロニクス部品の設計・製造
- ・ 各種めっき・表面処理



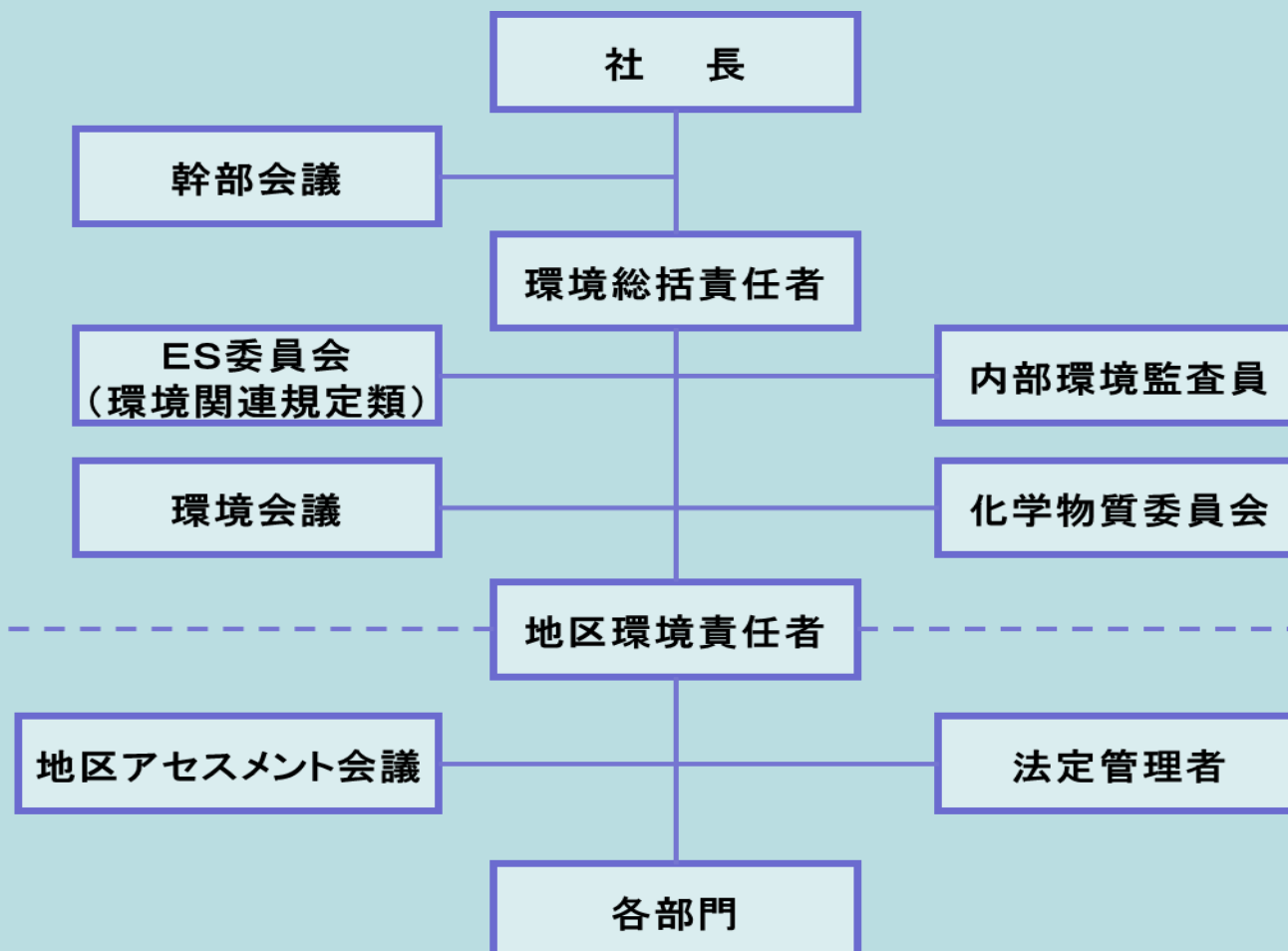
### 光エレクトロニクス部品



## 環境方針

1. 環境マネジメントシステムの適切性、妥当性、かつ有効性を維持し、継続的改善を推進します。
  2. 環境関連の法規制、協定及び顧客要求事項等を順守します。
  3. 環境目的・目標を定め、見直し、その実現を図ります。
  4. 光通信・電子部品用硝子加工を始めとする全ての事業活動を通じ、省資源・省エネルギー・廃棄物削減に取り組み、健全な環境の維持向上に努めます。
  5. 環境配慮型製品の提供及び製品含有化学物質の管理を推進するとともに、環境汚染の予防に努めます。
  6. 当社に従事する全ての人々が本方針に沿った行動を行うように教育・訓練を実施します。
- なお、この環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

## 山村フォトニクス 環境管理体制





# 環境監査(外部機関・内部監査)

## ISO14001 定期審査

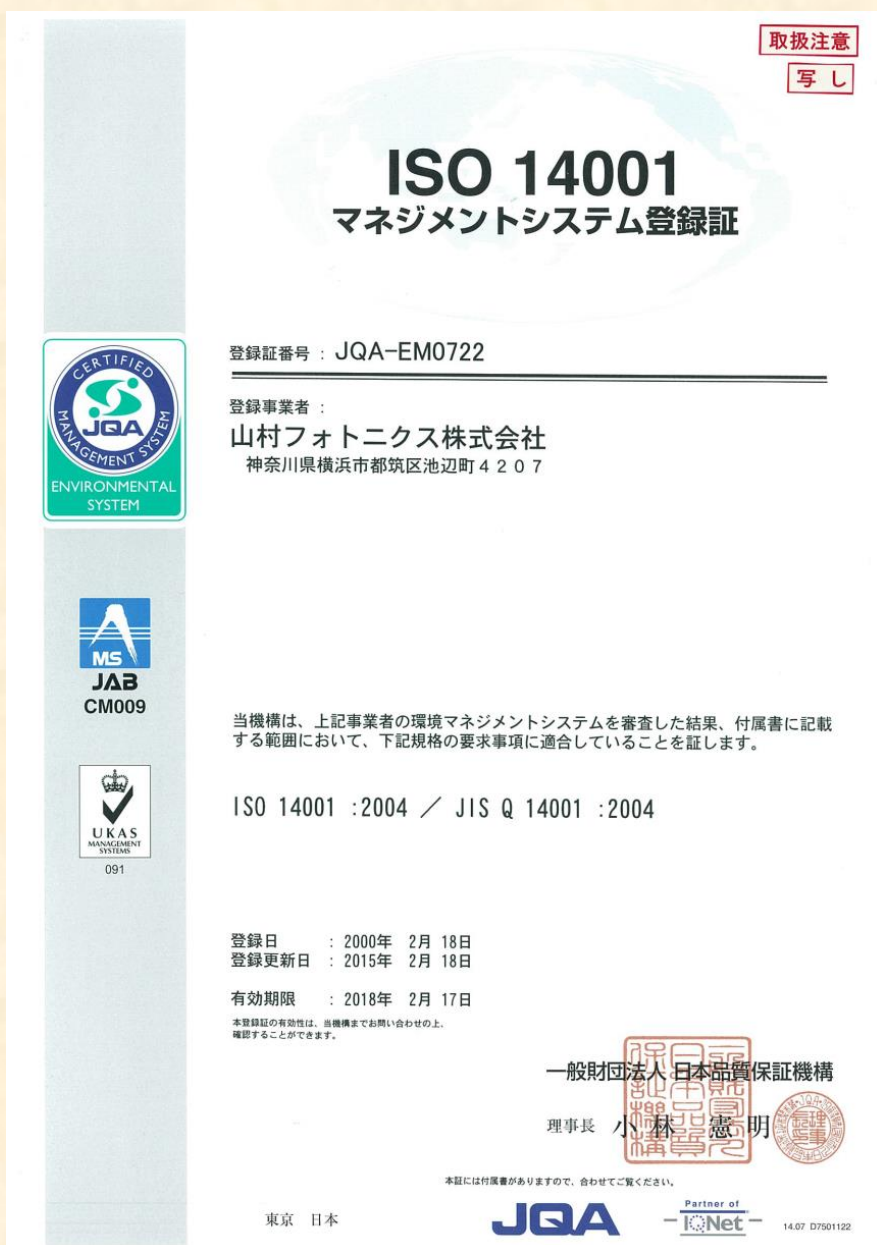
一般財団法人日本品質保証機構によるISO14001の定期審査を2016年1月13日・14日・15日の3日間で行いました。

## 内部環境監査

環境管理活動の運用とマネジメントシステム確認のため内部環境監査を2015年11月～12月まで実施しました。

(1回/年実施)

## ISO14001 登録証



取扱注意  
写し

### ISO 14001 マネジメントシステム登録証

登録証番号：JQA-EM0722

登録事業者：  
山村フォトニクス株式会社  
神奈川県横浜市都筑区池辺町4207

当機構は、上記事業者の環境マネジメントシステムを審査した結果、付属書に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 14001 :2004 / JIS Q 14001 :2004

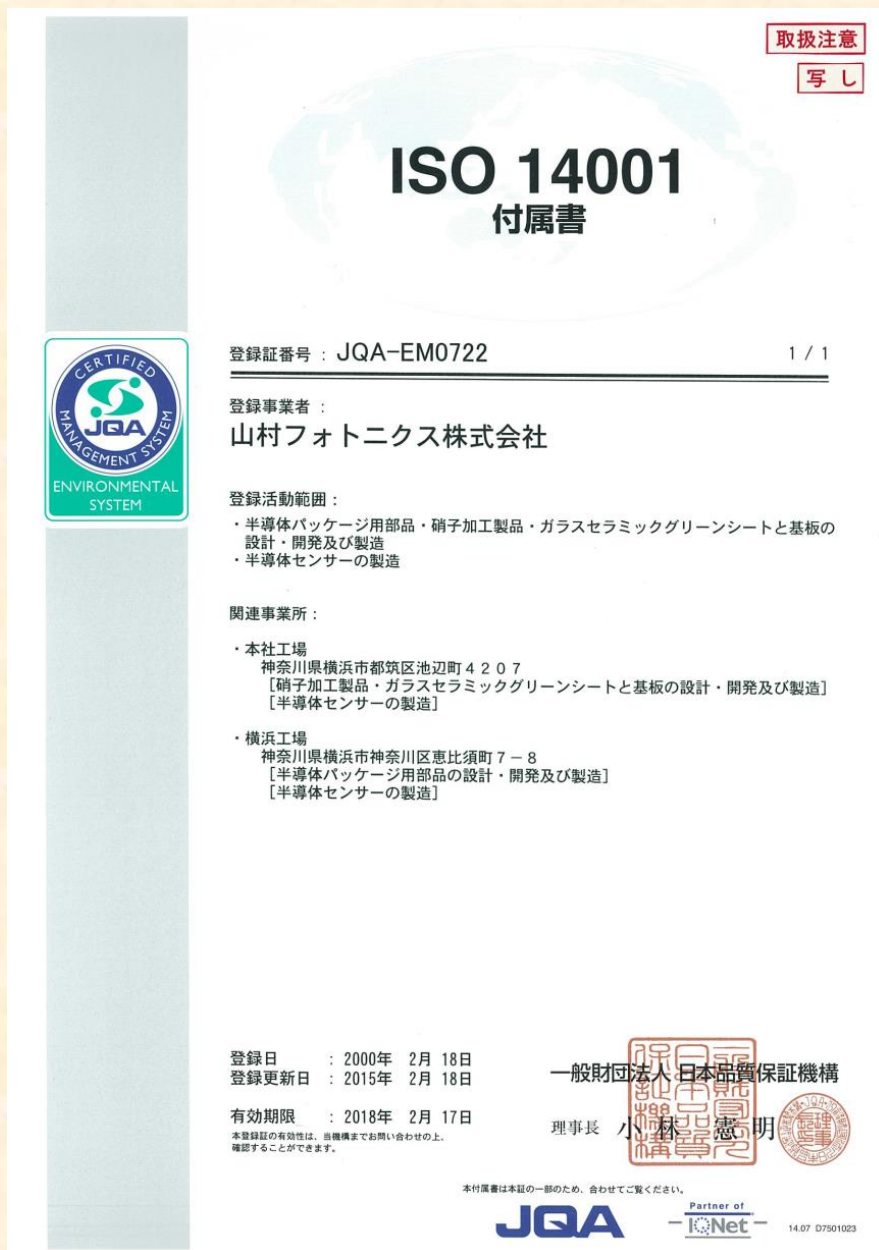
登録日 : 2000年 2月 18日  
登録更新日 : 2015年 2月 18日  
有効期限 : 2018年 2月 17日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構  
理事長 小林 憲明

東京 日本

JQA Partner of iQNet 14.07 D7501122



取扱注意  
写し

### ISO 14001 付属書

登録証番号：JQA-EM0722 1 / 1

登録事業者：  
山村フォトニクス株式会社

登録活動範囲：  
・半導体パッケージ用部品・硝子加工製品・ガラスセラミックグリーンシートと基板の設計・開発及び製造  
・半導体センサーの製造

関連事業所：  
・本社工場  
神奈川県横浜市都筑区池辺町4207  
[硝子加工製品・ガラスセラミックグリーンシートと基板の設計・開発及び製造]  
[半導体センサーの製造]  
・横浜工場  
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町7-8  
[半導体パッケージ用部品の設計・開発及び製造]  
[半導体センサーの製造]

登録日 : 2000年 2月 18日  
登録更新日 : 2015年 2月 18日  
有効期限 : 2018年 2月 17日

本登録証の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人 日本品質保証機構  
理事長 小林 憲明

本付属書は本証の一部のため、合わせてご覧ください。

JQA Partner of iQNet 14.07 D7501023

## 法定届出

法定届出が確実に行われているか、否かの届出内容を評価シートにて評価しています。

### 1 廃棄物関係

マニフェスト交付状況報告	減量化資源化計画書
多量排出報告書	排出量管理
廃棄物委託契約書(許可証)	廃棄物処理場現地確認報告書
廃棄物置場の表示	

### 2 化学物質関係

第一種指定化学物質排出量及び移動量の届出

### 3 PCB関係

PCB廃棄物保管状況等変更報告書

### 4 横浜市生活環境の保全等に関する条例

指定事業所の届出      環境管理事業所の届出

### 5 大気関係

VOC排出量調査票

### 6 法定管理者等の変更関係

各種法定管理者等変更届出

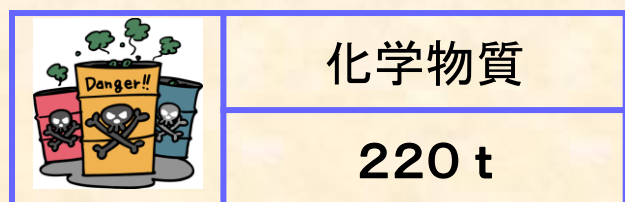
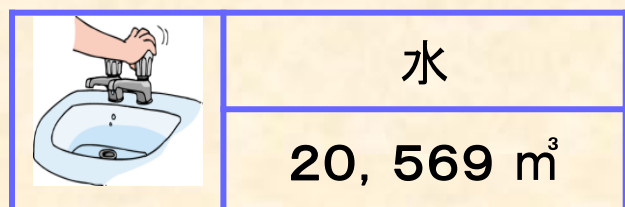
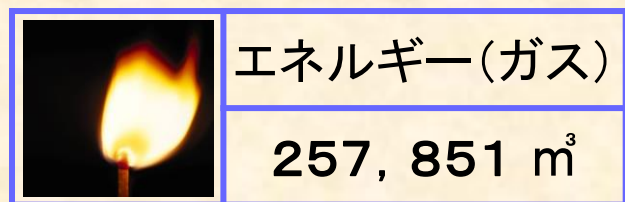
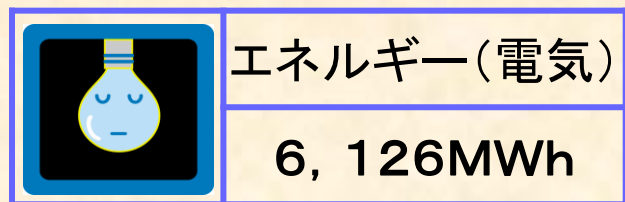
### 7 水質関係(水濁法・下水道法)

特定施設使用開始・変更届出      有害物質貯蔵指定施設使用届出

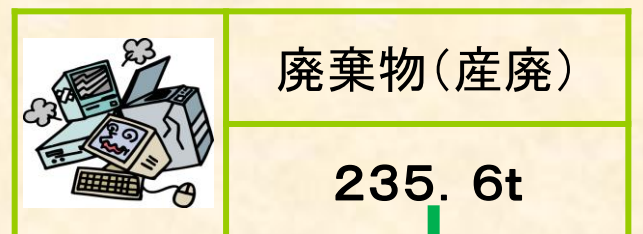
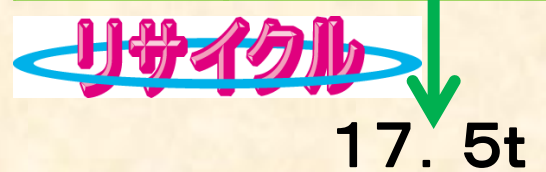
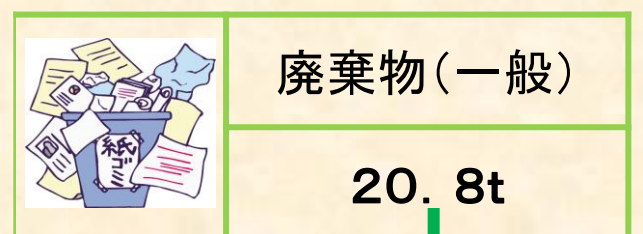
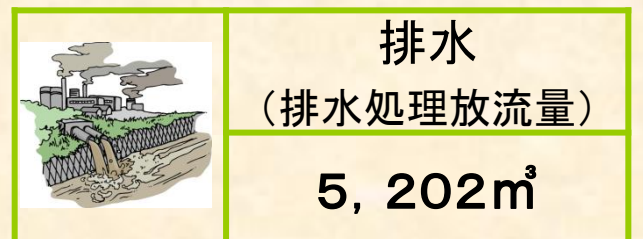
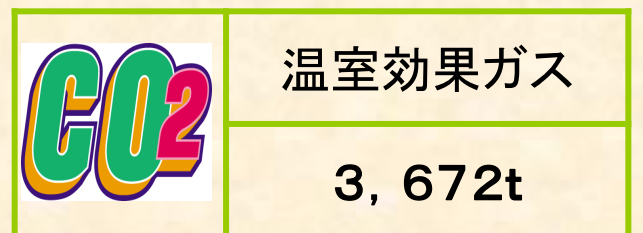


# 環境負荷マスバランス

## 2015年度 INPUT



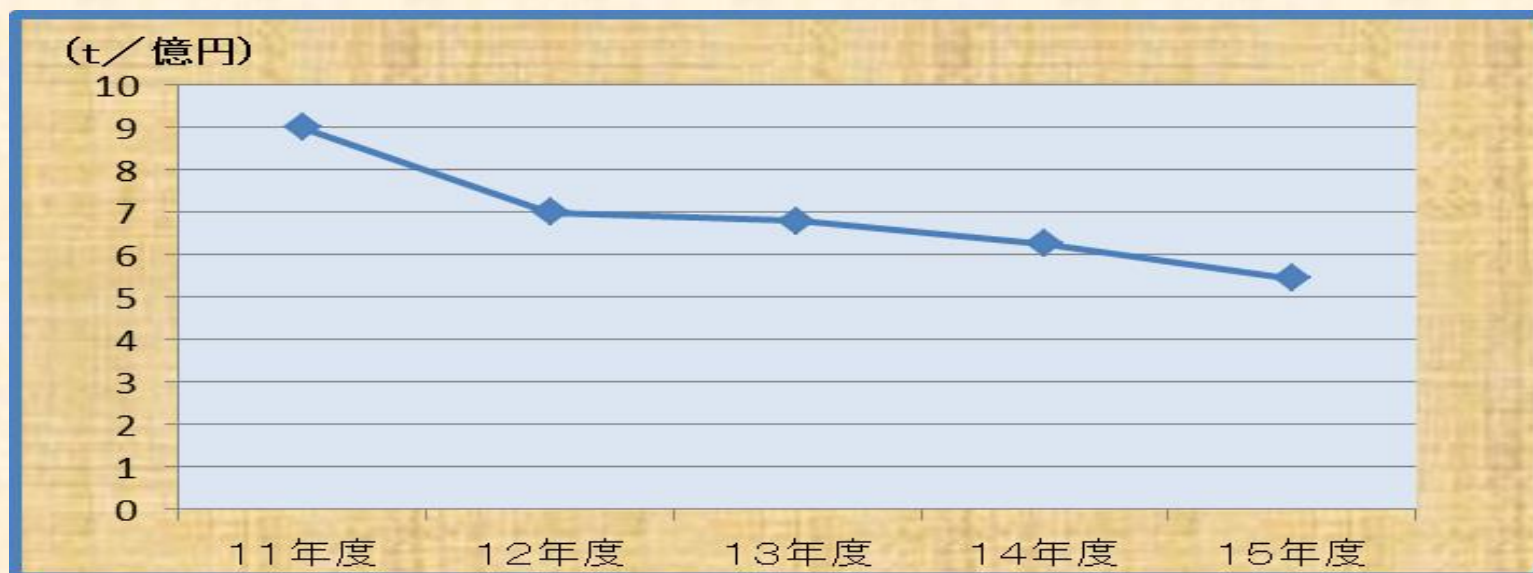
## 2015年度 OUTPUT



# 環境パフォーマンス

## 化学物質使用量原単位推移

※原単位: 使用量 / 売上高



## 廃棄物排出量原単位推移

※原単位: 排出量 / 売上高



## エネルギー使用量原単位推移(原油換算量)

※原単位: 原油換算量 / 売上高



## 環境目的・目標

環境マネジメントシステムに基づき、年度毎に全社・環境運用組織グループにて環境目的・目標を設定し、環境改善活動を行っております。2015年度の活動実績を下記の通りご報告致します。

環境目的	環境目標	実績	評価
化学物質の削減	前年度比原単位1.0%以上削減	前年度比13.9%減	達成 ○
廃棄物排出量の削減	前年度比原単位1.0%以上削減	前年度比14.1%減	達成 ○
省エネルギーによる 電力・ガスの削減	前年度比原単位1.0%以上削減	前年度比18.3%減	達成 ○
環境影響外部流出なし (環境リスクの低減)	環境緊急時想定訓練の実施	緊急時想定訓練 5件実施	達成 ○



## 環境目的・目標

環境マネジメントシステムに基づき、年度毎に全社・環境運用組織グループにて環境目的・目標を設定し、環境改善活動を行っています。2016年度の活動計画を下記の通りご報告致します。

## 全社目的・目標

環境目的	環境目標
化学物質の削減	前年度比原単位1.0%以上削減
廃棄物排出量の削減	前年度比原単位1.0%以上削減
省エネルギーによる 電力・ガスの削減	前年度比原単位1.0%以上削減

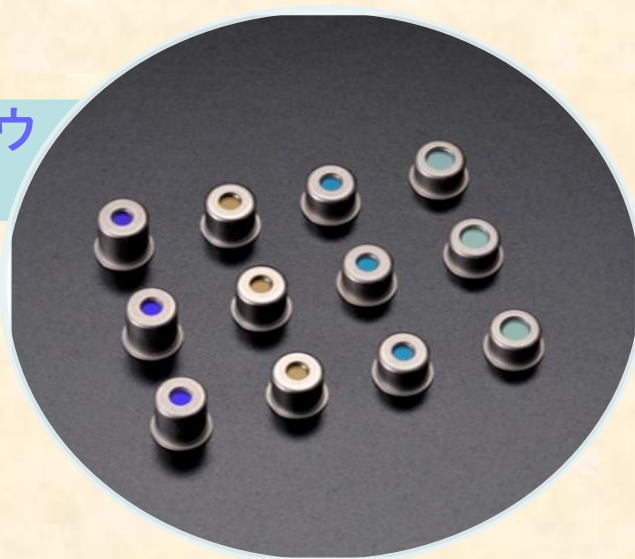
## グループ目的・目標

全社目的・目標を達成させる為、各グループ単位にて、歩留向上・化学物質使用量の削減・廃棄物の削減等個別目標を設定して活動を行っています。

# 弊社が提供する環境配慮型製品

- 低融点ガラスのPbフリー対応として代替化の取り組みを行い、「環境配慮型製品」を提供致します。

フラットウィンドウ  
キャップ

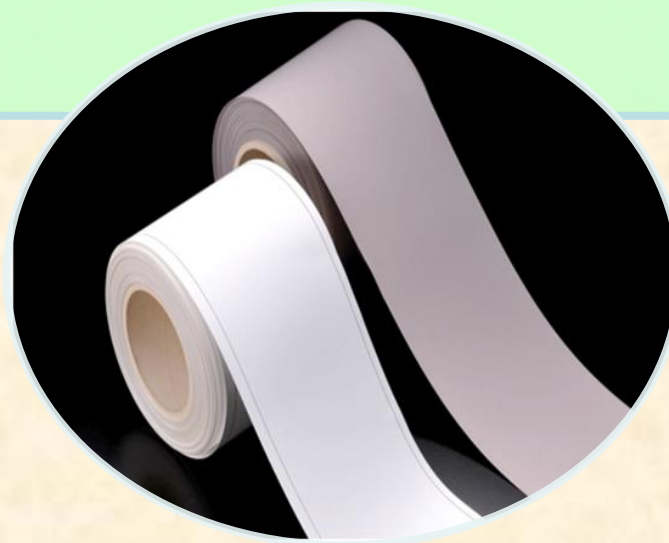


ボールレンズ  
キャップ



- LTCC基板用グリーンシートは、 $850^{\circ}\text{C}\sim 900^{\circ}\text{C}$ の低温焼成が可能で、高強度・低誘電率・高い寸法精度を有し、かつ、鉛を含まない環境に配慮した製品です。

ガラスセラミックス



## 法令順守

環境関連法令を順守するため、法規制値より厳しい自主管理基準値を設定して管理を実施しています。全て法規制値をクリアしていることにより法令順守がなされています。

### 本社地区

水質管理:横浜市下水道条例による。

除害設備系排水	: 5項目管理
生産系排水	: 3項目管理
生活系排水	: 1項目管理

### 横浜地区

水質管理:水質汚濁防止法

横浜市生活環境の保全等に関する条例

排水処理施設出口:20項目

浄化槽 : 3項目

## 法令チェックシート

環境関連法令を順守するため、各法令のチェックシート作成し、1回／年実施しています。



## 環境影響評価

環境影響評価を1回／年 行うことにより環境施設、生産ラインにおける環境負荷を低減するべく、環境影響評価と環境側面の登録を行っています。また、緊急不適合発生の可能性の登録リストを作成して、これらに基づき「緊急時想定訓練」を実施することにより、環境リスク低減活動を推進しています。

### 【緊急時想定訓練対象施設リスト】

環境側面	原因となる施設	地区名
水素貯蔵	水素供給施設	本社地区
地下への排出	生産系最終出口	本社地区
海域への排出	スクラバーS1・S4・S5	横浜地区
海域への排出	排水処理施設	横浜地区

## 環境リスク低減活動

環境リスクを低減していくため、環境目的・目標に取り入れ、環境パトロール実施、リスク抽出と対策実施の確認、サプライヤー評価等を行っています。

### 【活動内容】

環境リスク低減活動	実施内容	実施頻度
環境パトロール	環境設備・生産設備等 状況把握・改善活動	2回／年
リスク抽出と 対策実施	外部への環境影響を及ぼす可能性のある設備・作業等の予防措置	随時
サプライヤー評価	購入品・サプライヤーの 環境リスク意識の監視	新規取引時

# 社会貢献活動

## 鶴見川保全活動



自然回復保全エリア内にて在来種植物保護回復のため外来種植物を除去しています。鶴見川保全活動として、鶴見川流域水マスタープランの推進にも貢献しています。

## ペットボトルキャップ回収



社会貢献活動の一環として回収しているペットボトルキャップは『NPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会』に寄付され、ポリオ（小児麻痺）や結核等のワクチンが発展途上国の子供たちに贈られます。

## 美化活動



構内及び周辺道路等の美化活動を実施し、緑化、地域貢献活動を推進しています。

## 献血活動



毎年2回の献血活動を実施し、社会貢献活動に協力しています。



本環境報告書をご覧頂き、ご感想等お気づきの点がございましたら、添付アンケート用紙にご記入の上、お送りいただければ幸いです。

弊社の今後の環境活動を進めるに当たり、参考にさせていただきます。

### 【送り先・問合せ先】

〒224-0053  
横浜市都筑区池辺町4207

山村フォトニクス株式会社

品質・環境保証部

TEL : 045-930-1819  
FAX : 045-930-1820  
e - Mail : tozawa@yama-ph.co.jp



# 環境報告書アンケート

皆様のご意見、ご感想をお願い致します。

① お読みになった感想

解りやすい

ふつう

解りにくい

② 情報の質

解りやすい

ふつう

解りにくい

③ 情報の量

多い

適切

少ない

④ どのような立場で、お読みになりましたか？

お客様

お取引様

行政関係

学校関係

学生

関連グループ会社

その他( )

⑤ その他、ご意見・ご感想をお願い致します。

御協力ありがとうございました。

(提供して頂いた情報は今後の環境保全活動、環境報告書発行の目的以外に使用することはございません。またご本人の同意なく第三者に提供することも一切ございません。) 差し支えない範囲で下記にもご記入をお願いいたします。

ご住所	〒		
ご氏名		性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	年齢 代
TEL			
eメール			
ご職業			
(勤務先・学校名)			